

7 河川空間の利用状況

7-1 河川の利用状況

子吉川は沿川住民から「母なる川」として親しまれており、河川空間等を利用した様々なレクリエーションの場となっている。

子吉川を練習場とする本荘高校ボート部は、昭和7年に初の全国制覇を果たし、それ以後も数多くの全国優勝を成し遂げている。朝靄のたちこめる下流から「ヨイゴウー」の美声を発しながら人々に朝を告げる様子は子吉川河口ならではのものである。

また、子吉川はカヌー利用も盛んである。流域には、由利町カヌー協会と本荘市カヌー協会の2つの協会があり、定期的にかヌー教室を開催している。他県から訪れる利用者も多く、その数は年々増加している。

子吉川で行われる主な行事としては、子吉川の清流を利用して行われる「ハゼ釣り大会」をはじめとし、「本荘市民ボート大会(子吉川レガッタ)」、「子吉川イカダ下り大会」などがある。

【川下りを楽しむカヌーイスト】



年々増加してきたカヌー人口に伴い、国土交通省が護岸工事と並行してカヌー乗艇場を建設した。乗艇場の周辺では、カヤックだけでなくカナディアンの人もあり、楽しそうにパドルを漕いでいた。

出典:「子吉川」秋田河川国道事務所

【本荘市民ボート大会・子吉川レガッタ】



昭和54年の宮崎国体での本荘高校端艇部の優勝を機に、同部のOB団体が中心となり始めたのがきっかけとなった。

参加40クルーからスタートしたこの大会も、第4回から100クルーを超え、最大で163クルーがエントリーする本荘市の名物イベントとなった。

出典:「本荘ボートプラザ・アクアパルHP」

子吉川はアユが多く生息する川として全国に知られており、7月の解禁にあわせて、全国から多くの釣り客が、アユ釣りを楽しむために訪れている。アユ以外にも上流部では、イワナ、ヤマメなどを釣ることができる。

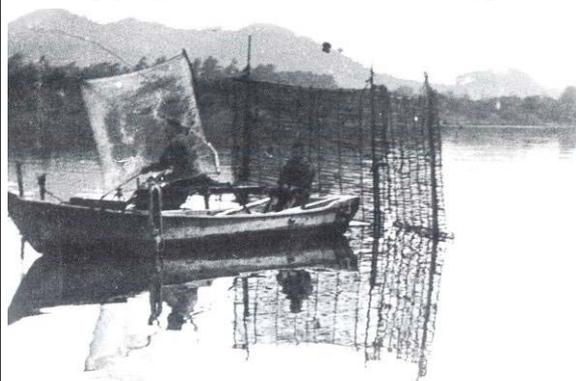
また、川魚の宝庫である子吉川では、冬にはコイの追い込み漁、春にはヤツメ漁やシロウオの持ち網漁、夏にはゴリ漁が古くから行われており、子吉川の風物詩となっている

【アユ釣りを楽しむ釣り人】



出典:秋田河川国道事務所資料

【伝統漁法：シロウオの持ち網漁】



よしずで川を囲い、そこに網をしかけてじっと待つ。

出典：「子吉川」秋田河川国道事務所

【伝統漁法：ゴリ漁】



浅瀬に設置した網カゴに誘導するように石積み
を設け、のぼってくるゴリをとる。

出典：秋田河川国道事務所資料

子吉川の内水面漁業における漁業対象魚は、カワヤツメ、コイ、フナ、ウグイ、アユ、イワナ、ヤマメである。漁業実態は、表 7-1 に示すとおりである。近年各魚種の漁獲高は減少してきているものの、アユ、イワナ、ヤマメの放流は盛んに行われている。

また、漁業組合は、子吉川水系漁業協同組合と矢島町漁業協同組合の2組合がある。

表 7-1 子吉川の漁業実態(漁獲量)

対 象 漁種名	漁獲量(t / 年)												
	1985 S60	1986 S61	1987 S62	1988 S63	1989 H1	1990 H2	1991 H3	1992 H4	1993 H5	1994 H6	1995 H7	1996 H8	1997 H9
サケ類	8	8	6	6	6	7	7	2	2	8	6	5	4
イワナ	-	-	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
アユ	6	10	8	8	8	8	6	3	2	3	2	1	1
コイ	3	4	2	2	4	3	2	1	1	1	1	1	1
ウグイ	4	5	5	4	4	5	1	1	2	2	2	2	2
ドジョウ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ハゼ類	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	0
エビ類	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	17	17	17	15	16	16	16	0	-	0	0	0	-

出典：「秋田県漁業の動き (東北農政局 秋田統計情報事務所)」

7-2 河川敷の利用状況

子吉川および石沢川の高水敷における植林地、耕作地(採草地、水田、畑等)、公園施設等の人為利用地の占める割合は、ほぼ半分であり、地域の生活や農産業との関わりが強いといえる。

また、高水敷を利用した主な行事には冬の「凧揚げ大会」、夏の「本荘川まつり花火大会」がある。

「凧揚げ大会」の凧は本荘凧といい、本荘城の落成を祝って城主の紋を描いた「紋凧」が最初といわれている。戦後一時中断したが、昭和41年に再開してからは冬の行事として高水敷を賑わしている。

「本荘川まつり花火大会」は、幾千個の静かな燈籠流しの後に行われ、男性的な爆発音で始まる夏の夜の一大ページェントである。

そのほかには「川の日」を記念して開催されるようになった「子吉川フェア」などがある。

【子吉川フェア】

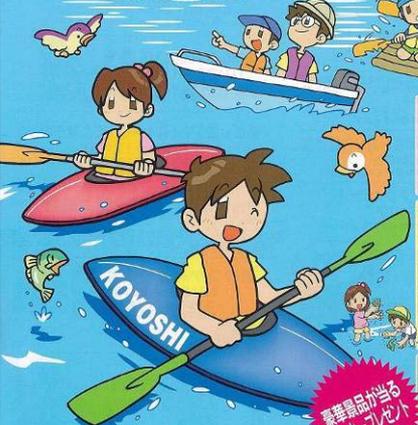
7月は河川愛護月間・7月7日は「川の日」です。

感じよう!川が奏でる豊かなハーモニー

第9回 子吉川フェア

7月18日(日) 10:00 ~ 15:00 **第15回 同時開催 子吉川いかた下り大会**

会場:本荘ボートプラザ アクアパル
本荘市友水公園ほか



多目的ホール

種別式
「郷土・歴史コンクール」表彰式
「子吉川まつり」表彰式
つくつてあそぼう「キッズマーケット」
押し花が楽しめる「押し花体験」
ラッセルプレゼント
種別式

アクアパル館内および周辺

環境学習展示、特別展示
「郷土・歴史コンクール」作品展示
フリーマーケット(水産物のまち市場)
観音堂
川の恵みをお楽しみ「川産品」展示
フワフワボート作り体験・販売
お楽しみ品
子吉川歴史等展示コーナー
電気とエネルギー一覽
魚のつかみどり大会

友水公園会場

環境学習展示
子吉川まつり・子吉川まつり
グラウンドゴルフ自由体験
河川会館
親子船上遊覧
カヌー体験 参加してね!

**豪華景品が当たる
ラッセルプレゼント**

子吉川の友水公園とアクアパルを会場に開催される。当時の建設省の近代治水100周年を記念して、七夕伝説の天の川のイメージのある7月7日を「川の日」に制定したのを受けて、川に親しみを持ち、愛される川づくりを進めていくための交流の場にしようと、平成8年から始まったイベントである。

「親子船上観察」「魚のつかみどり大会」「カヌー体験」など、様々な催しものがあり、数多くの参加者で賑わう。

出典:秋田河川国道事務所資料

【本荘川まつり花火大会】



本荘市恒例の一大イベント川まつり花火大会は、スターメインやナイアガラ、水中花火などあわせて約6,000発が打ち上げられ、夏の夜空を彩る。また、5,000灯の灯籠が子吉川の川面に花を咲かせる。

出典:「本荘市 HP」

【凧揚げ大会の様子】



昭和41年から始まったこの大会には、テレビの人気キャラクターや、お国自慢の伝統凧など個性豊かな凧があげられ、会場に訪れた人の目を楽しませてくれる。

出典:「本荘市 HP」